北海道東川高等学校
令和６年度　学校だより　第２号
令和６年８月21日発行

校訓
美風慣行
自律創造

若い世代に望むものは

校長　高　倉　友　恵

道教委にはたらきかけ、昨年度、全国の中学生が出願できるように入試要項を変更しました。今年度は東川町の協力を得て、東京、大阪、札幌での学校説明会を実施しています。同様な取り組みをしている学校が全国におよそ150校あり、それぞれに地域性を活かした教育活動をＰＲしています。

本校も、福祉教育や探究教育、国際理解教育など、他校にはない実践や、東川町やパートナーシップ企業等の協力・支援による充実した教育環境をアピールしています。 札幌の説明会には本校の生徒も同行し、生徒自身の思いとして、東川高校の良さを、「様々な活動を両立して頑張れること」「東川学がおもしろいこと」「挑戦できること」と、中学生や保護者に伝えてくれました。「高校生活で成長を実感している。だからこの先もっと成長できると思うと、将来が楽しみで仕方ない。」と話した言葉に、涙を流される保護者の方もおり、生徒が将来を楽しみに思える学校づくりは、東川高校に関わっていただいている全ての方々による成果、と嬉しい気持ちになるとともに、将来が楽しみな社会づくりは大人の責任であり、願いだと感じました。

地元の中学生に加え、他の地域の文化と高校生活への意欲をもった生徒が入学してくれることを期待し、東川高校は頑張っています。

第57回　東川高祭　大盛況で終了

７月５日（金）・６日（土）に東川高祭を実施しました。５日（金）のねぷた行列では、数年ぶりに道道1160号線を使用し、小雨にも関わらず多くの方が沿道でご覧いただきました。

また、６日（土）は、東川町商工会のご協力により、町内のお店の商品を景品とする抽選会を行いました（校内スタンプラリーのクリアが抽選会参加の条件）。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

１日進路探究（東川町LIPフェス）

７月20日（土）今年度はじめて「１日進路探究」を実施し、全校生徒で東川町LIPフェスに参加しました。

赤平市にある植松電機の植松社長による基調講演では、「思うは招く、夢があればなんでもできる」と題して、多くの生徒の心に刺さるお話をしていただき、会場は感動の空気に包まれました。その後、24名の社会人や大学生が職業や活動への想いを語る座談会が行われ、生徒は自ら選択し参加しました。

21日（日）は、昨年度探究チャレンジに出場した３年生の代表者が、東川学の成果発表を行いました。

野球部全校応援

６月27日（木）爽やかな天候に恵まれ、野球部の全校応援を実施しました。相手は、上富良野高校と富良野緑峰高校との連合チームでした。惜しくも負けてしまいましたが、野球部の生徒たちは最後まで頑張り、そして、全校生徒は勝利を信じて応援し続けました。

野球部の選手諸君、感動をありがとう！！

学校生活に関わる調査

５月に学校生活に関わる調査を行いました。その中で、いじめに関わる項目で、「嫌な思いをしたことがある」と回答した生徒が５名おりました。学校では、状況を聞き取り、保護者等とも連携しながら、解消されるよう継続した指導を行っています。

本校の「いじめ防止基本方針」は学校ＨＰでご覧いただけます。　本校の教育活動についてはＨＰでご確認ください。また、今年度から生徒会執行部によるInstagramを始めました。ぜひフォローしてください。

@HIGASHIKAWA_SEITOKAI

Instagram

学校ＨＰ